

医学部定員増に伴う財政支援について

○平成 21 年度以降の医学部定員増に伴う公立医科大学・医学部
に対する財政補助支援

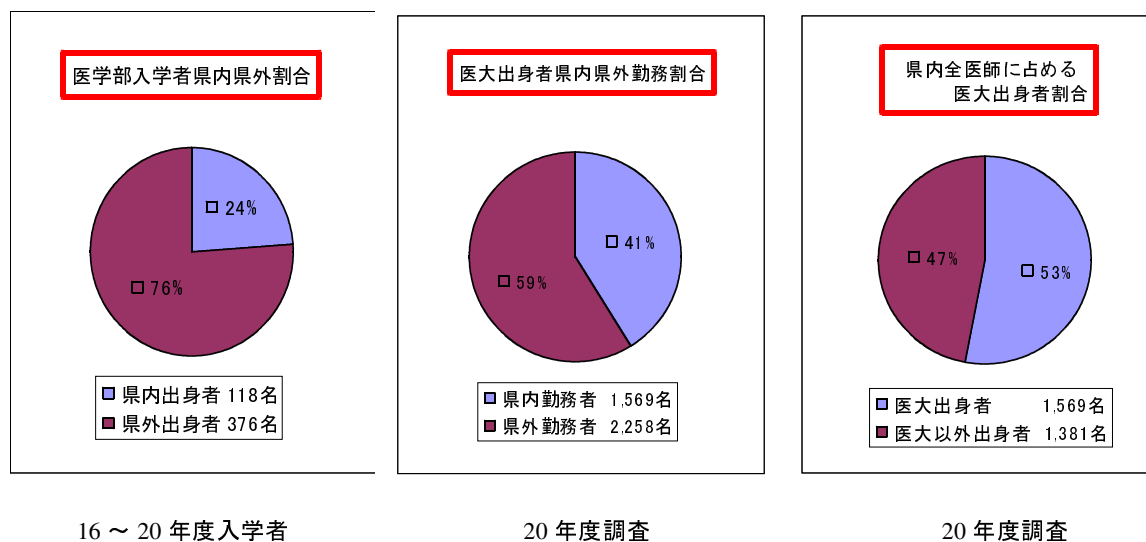
・地域の公的医療機関や診療所医師の養成に加え、その供給に大きく寄与し、高度先進医療はもとより、救急医療やへき地医療などの地域のニーズに応じた責務を献身的に果たすなど、「地域医療」に量、質ともに絶大な貢献する公立医科大学・医学部が、医師確保のため、増員するにあたり、その財政負担が大きいことから、地方交付税の算入単価を引き上げるとともに、医科大学に対して国庫補助金による直接的な支援など、財政措置の拡充を要望する。

要望先 文部科学省
厚生労働省
総務省

＜現状と問題点＞

医学部定員増は、医師確保のため、地方公共団体にとって時宜を得た施策であるが、財政基盤が脆弱な地方公共団体にとって、財政負担が大きな問題

奈良県の地域医療における奈良県立医科大学の人的貢献の状況

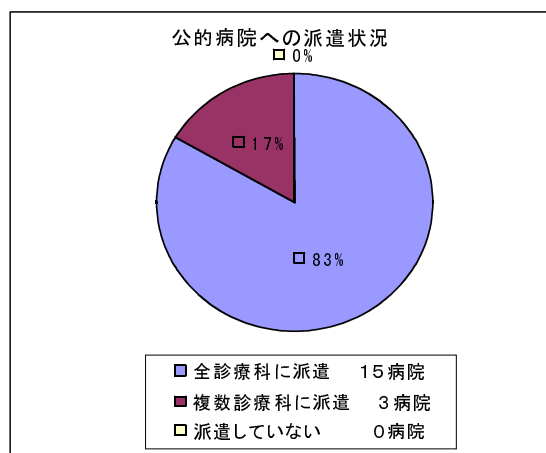


奈良県立医科大学に入学する県内出身者は、全入学者の4人に1人であるが、卒業生のうち、10人に4人が県内で診療にあたっており、それは県内の全医師の2人に1人にあたる

奈良県立医科大学が医師を派遣している県内公的病院の状況

(参考)

公的病院への医師派遣比較



	全診療科 派遣病院数	複数診療 科派遣病 院数	医師を派遣 していない 病院数
奈良県立医大	15	3	0
和歌山県立医大	13	7	1
福島県立医大	1	28	4